

総合博物館

青森県立郷土館だより

News from the Aomori Prefectural Museum

通巻156号 平成25年(2013)5月20日 Vol.44 No.1

企画展 山内博尚コレクション 美しき 蝶の世界



ゴライアストリバネアゲハ

みなさんは、世界で最大の蝶の名前をご存じでしょうか。羽の長さで最大のものはパプア・ニューギニアに生息する「アレキサンドラトリバネアゲハ」のメスで、羽の面積で最大のものは「ゴライアストリバネアゲハ」のメスだといわれています。どちらの蝶も大きさはメスの方が体は大きいのですが、羽の美しさではオスに軍配が上がります。現在、生息地の狭さや乱獲による絶滅が危惧されていて、ワシントン条約で取引が規制されています。

寄贈者の山内博尚氏は、青森県弘前市に生まれました。1946(昭和21)年、旧制弘前中学校(現在の弘前高等学校)に入学し、本格的に蝶の採集をはじめました。

1951年5月には南津軽郡大鰐町十和田山の山麓で、日本で初めてスギタニルリシジミの産卵をトチノキの蕾で確認し、同年8月の日本植物学会東北支部第



アレキサンドラトリバネアゲハ(左上♂、左下♀)

- 期間 6月7日(金)～7月15日(月)
- 時間 9:00～18:00
- 場所 当館1階・特別展示室(大ホール)
- 料金 一般 310円(250円)
高校・大学生 150円(120円)
中学生以下、障がいのある方は無料
※()内は20名以上の団体料金。
上記金額で常設展も観覧できます。

4回大会青少年部(弘前市)において、飼育による「スギタニルリシジミの生活史」を発表しました。長年にわたる蝶の研究は海外にも及び、パプア・ニューギニア及び北ソロモン、マレーシア、インドネシア、フィリピン等において採集を行いました。1994(平成6)年、定年退職(青森県立弘前中央高等学校 事務長)した後、2度目のパプア・ニューギニアへ、そしてアメリカ・アラスカ州へと調査範囲を広げました。

2004年、これまで山内氏が収集してきた蝶の標本や資料は、一括して青森県立郷土館に寄贈されました。寄贈された蝶の標本箱は150余りにのぼります。本展示会ではその中から海外調査時に採集した標本を中心に展示し、その業績を紹介します。(豊田 雅彦)

企画展 吉田初三郎 鳥瞰図展 大正・昭和に描かれたパンフレット

吉田初三郎（1884～1955）は、昭和30年に没するまで、観光地などを、上空からの視点で描いた絵地図＝鳥瞰図を製作して一世を風靡した画家です。

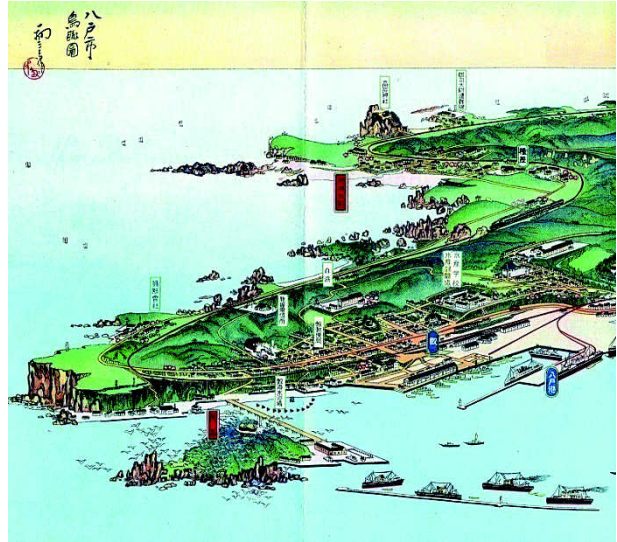
彼の鳥瞰図は、大胆なデフォルメで鑑賞者の目を楽しませつつ、名所や交通機関などの様子が一目でわかるように作られています。

初三郎が各地の鉄道会社・都道府県・市町村・ホテルなどからの依頼を受けて製作した作品は1,600点を超えるとも言われ、現在でも全国各地に多くの愛好家を擁し、根強い人気を誇っています。彼は、鳥瞰図製作のために日本全国各地をくまなく旅し、膨大な数のスケッチをもとに、多くの弟子たちの協力を得て、それぞれの地域の風景を、携帯しやすいコンパクトな折図に仕立てて印刷・発行しました。

弟子の中には、初三郎の下を離れたあと、多数の鳥瞰図を世に送り出して彼の最大のライバルとなった金子常光が居ました。

この企画展では、当館が平成23年度に購入した吉田初三郎の鳥瞰図・絵葉書、および金子常光の鳥瞰図等あわせて約300点を展示します。初三郎が活躍した、大正・昭和戦前期の観光の雰囲気をお楽しみください。（佐藤 良宣）

- 期 間 7月24日(水)～9月1日(日)
- 時 間 9:00～18:00
- 場 所 当館1階・特別展示室（大ホール）
- 観覧料：一般 310円(250円)
 高校・大学生 150円(120円)
 中学生以下 無料
 ※()内は20名以上の団体料金。
 また、上記金額で常設展も観覧できます。



吉田初三郎作「八戸市鳥瞰図」(昭和8年)から鮫・種差周辺



吉田初三郎作「国立公園十和田湖」(昭和8年)

夏の自然観察会のお知らせ



昨年青森市合子沢で行われた自然観察会の様子

今回の自然観察会は、青森・岩手県境の山「階上岳」が会場です。階上岳の標高は739.6mありますが、形はなだらかなことから、寝ている牛に見立てて臥牛山とも呼ばれています。階上岳は花崗閃緑岩という、恐竜が繁栄していた中生代の白亜紀に、地下の深いところでマグマがゆっくりと冷え固まってできた岩石からできています。このような岩石が階上岳となって地表に現れているのは、長い年月をかけて隆起したためだといえます。

階上岳と種差海岸は県立自然公園でしたが、このほど三陸復興国立公園に指定されることになりました。今回の自然観察会は、これを記念したイベントのひとつでもあり、県自然保護課の協力を得て開催します。登山道をゆっくりと歩きながら周囲の草花や小動物・昆虫を観察するほか、山頂では階上岳を造る岩石の観察も行います。これらの観察を通して自然界の不思議や仕組みについて考え、その素晴らしさを学ぶ会にしたいと思います。（島口 天）

- 日 時 6月16日(日)
- 時 間 10:00～14:30
- 場 所 階上岳(階上町)※現地集合・現地解散

- 人 数 30名(無料)
- ハガキ・電話・FAXのいずれかの方法で、氏名・住所・電話番号をお知らせください。（申込み：6月13日まで）

再生！そして出陣へ ねぶた「国引」

当館のシンボルの一つであるねぶた「国引(くにびき)」は、昭和48年に当館が開館して以来、民俗展示室に向かう通路の一角で、勇壮で華々しい姿を現してきました。しかし、経年劣化から色あせや紙の破れなどが目立ってきていました。「国引」は県外の観覧者にとっては、殊に印象深い展示のようで、記念写真のスポットにもなっています。

そこで当館は、開館40周年を機にねぶたの修復を実施することとしました。「国引」は、名人と称されたねぶた師佐藤伝蔵(さとうでんぞう)が制作し、昭和47年運行、田村磨賞(現ねぶた大賞)を受賞したねぶたです。修復は、佐藤伝蔵の指導を受け、現在もお尊敬の念やまないという新山一字(にいやまかずお)氏にお願いしました。本来の価値をできるだけ損なわないよう、注意深く修復が行われました。

5月18日に火入れ式を行い再生した「国引」は、今後も当館のシンボルとして展示されます。

なお、5月29日から7月28日まで、青森県観光物産館アスパムで、「国引」修復のプロセスを写真パネルにより展示します。どうぞご覧下さい。(古川 実)



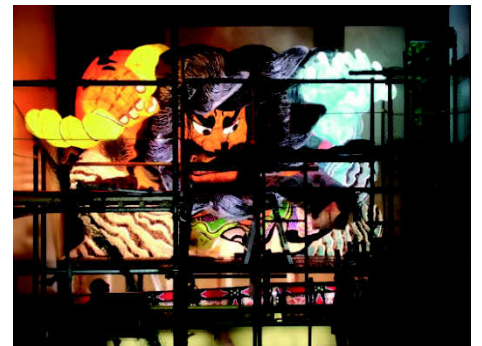
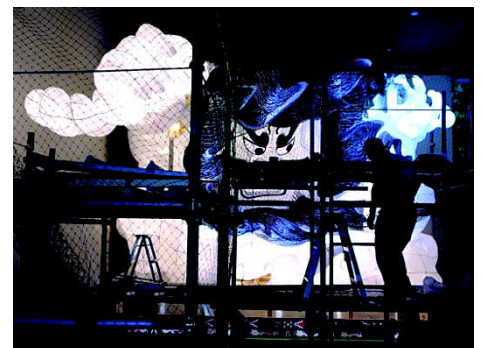
完成した国引

鹿角製櫛(ニッ森貝塚出土)

ニッ森貝塚は、小川原湖の西岸から約3.5kmの河岸段丘上に所在します。東西約600m、南北約170mの本県最大の縄文前期・中期の貝塚です。平成10年にはその一部が国史跡に指定されました。本品は、昭和37年に青森県教育委員会が委託し、弘前大学が実施した発掘調査で出土しました。全体が湾曲するのは、素材の鹿角の形状によるものでしょう。厚さは2.5mm程と薄く均一です。欠損していますが、歯が4本削り出されています。上部は中央に大きな円孔を配し、放射状のびる線状の透かし彫りが四本、また、外縁から中央の円孔に向かって短い線状の切り込みが施され、周辺には円形の点列が並びます。本県から出土した前期・中期の装飾品の中では傑出した出来映えで、縄文人の技術や精神性を示しています。平成25年4月17日付けで県重宝に指定されました。考古展示室に常設展示してありますので、どうぞおいで下さい。(中村 哲也)



ねぶたが修復されるまで



TTHAグループ主催「青森県写真連盟50周年 プレ写真展」開催中



TTHAグループ主催 「青森県写真連盟50周年 プレ写真展」を、当館大ホールで5月26日(日)まで開催しています。
平成26年に青森県写真連盟は創立50周年を迎えます。これを記念し、県内の会員から応募のあった170点余の作品展示と、特別協賛で十和田市身の写真家・岩木 登氏「原生の鼓動展アンコール+(プラス)」も開催しています。また、25日には技術セミナーも当館小ホールで開催されます。開催期間は残りわずかとなっていますが、こちらの展示は無料ですので、お時間がありましたらぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。
5月25日(土) 13:30～ 当館小ホール
「RAW現像とプリント出力」 株式会社ピクトリコ 亀田 尚道氏

特別企画「青森県立郷土館所蔵絵図セレクト展」



当館が所蔵する絵図を厳選し、期間限定で公開した特別企画「青森県立郷土館所蔵絵図セレクト展」が4月27日から5月6日まで、当館大ホールで開催されました。ゴールデンウィーク期間中ということもあり、家族連れから年配の方まで様々な世代の方が訪れました。縦が4メートルもある国絵図を、双眼鏡を使いながらじっくりご覧になっている方もいました。また、4月28日には、当館歴史分野担当の本田伸による解説会も行われました。解説会には30名以上の方が参加し、時折会場が笑いに包まれ、終始和やかな雰囲気で行われました。(写真は八戸藩の飛地の絵図について解説しているときの様子)

夏の土曜セミナーテーマ

毎週土曜日13:30～ ※Gはゲスト
当館小ホールで開催(無料) キュレーター

当館解説員S作

月日	テーマ	講師
6月8日	ムラ境の習俗	古川 実
6月15日	古い道具と昔の暮らし	伊丸岡政彦
6月22日	東通村尻屋地域の地質と化石	島口 天
6月29日	缶詰の町あおもり	増田公寧
7月6日	種差海岸	G鷹山ひばり
7月13日	青森の縄文人と海	G福田友之
7月20日	「青森県の地図」から時勢をながめる	G小熊 健
7月27日	女性民俗学者 瀬川清子	G長谷川方子
8月3日	一華五葉を開く 一禅と禅語の世界	G清野暢邦
8月10日	モロッコの話	G成田 敏
8月17日	鳥瞰図と吉田初三郎について	佐藤良宣
8月24日	日本における旅人の保護について	G篠村正雄
8月31日	大間ー函館・わいどの海の道	G島 康子

夏の企画展・特別展・イベント情報

- ◆「山内博尚コレクション 美しき蝶の世界」 6/7(金)～7/15(月)
- ◆「吉田初三郎鳥瞰図展 大正・昭和に描かれた観光パンフレット」 7/24(水)～9/1(日)
- ◆「郷土館開館40周年記念 平尾魯仙」 9/13(金)～11/10(日)
- ◆「ミュージアム探検隊」 7/15(月)までの土・日・祝日
- ◆「夏の自然観察会」 6/16(日) ※事前申し込みが必要
- ◆「夏休み郷土館クイズラリー」 7/20(土)～8/25(日)
- ◆「夏休みこどものくに」 7/28(日)・8/4(日) ※事前申し込みが必要
- ◆「解説案内」 毎週日曜、祝日 午後2時から常設展を案内

